

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	1	基本事務事業名	救急医療対策事業	事務事業名	救急医療対策在宅当番医制度	公的関与	4	シート作成日	平成28年6月27日			
	部局名	健康福祉部		課名	健康推進課	主務課長名	大木 悠子		シート作成者名	近藤 侑香				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実			<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(7) 地域医療体制の充実			<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		厚生労働省救急医療対策事業実施要綱			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		休日又は夜間に治療を必要とする、比較的軽度の救急患者が対象です。										
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	阿波市医師会と連携して、休日又は夜間の初期救急医療体制を確立し、市民が安心して生活できる環境を整えます。									
				今年度	休日や夜間に適切な医療が受けられるよう、阿波市医師会と、より連携を密にし救急医療体制を整備します。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 阿波市医師会の当番医が、平日(午後6時~午後10時まで)と休日(午前9時~午後10時まで)の救急患者の診療治療を行います。													
	② 比較的軽度な救急患者の診察等を行います。													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標				
			救急患者の発生数は予測できないため、指導設定に適しません。			目標								
						実績								
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費
			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円								
		県支出金		千円	千円	千円								
		地方債		千円	千円	千円								
		その他特定財源		千円	千円	千円								
		一般財源		3,198 千円	3,198 千円	3,198 千円								
		計(A)		3,198 千円	3,198 千円	3,198 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.083 人	479 千円	0.083 人	482 千円	0.083 人	483 千円						
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)			3,677 千円	3,680 千円	3,681 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	救急医療体制の確保は、市民の安全安心な生活に必要な不可欠であり、継続した提供が必要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	阿波市における初期救急医療体制の確保が図られ、市民が安心して生活がおくれる環境整備が図られています。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	在宅当番医受診患者数は、住民の疾病や負傷等の発生状況に左右されるため、数等の目標達成を図ることは困難です。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	救急医療体制を整備することにより、早期に適切な治療が受けられ、入院期間の短縮など医療費が抑えられると思われます。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	在宅当番医制度の継続見通しについて、阿波市医師会とのより密な連携協議が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	国の「救急医療対策事業実施要綱」に基づくものであり、また市民が安心して生活がおくれるためにも、今後も継続していく必要があります。					継続して実施してください。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	-	2	基本事務事業名	救急医療対策事業	事務事業名	病院群輪番制病院運営事業	公的関与	4	シート作成日	平成28年6月27日			
	部局名	健康福祉部		課名	健康推進課		主務課長名	大木 悠子		シート作成者名	近藤 侑香				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input checked="" type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(7) 地域医療体制の充実				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		厚生労働省救急医療対策事業実施要綱			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		休日又は夜間に手術・入院を必要とする救急患者(第二次救急医療)が対象です。											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	東部Ⅲ医療圏に属し、住民の誰もが高度な救急医療を受けられるよう基盤の確立を行います。										
				今年度	休日や夜間に、誰もが適切で高度な医療が受けられるよう、救急医療体制を整備します。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 休日又は夜間の診療時間帯を救急告示医療機関で当番制をとりながら、救急医療体制の確保を行います。														
	② 市が補助金を交付して支援します。														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容 の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標						
			救急患者の発生数は予測できないため、指標設定に適しません。			目標									
						実績									
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4 衛生費		項	1 保健衛生費		目	1 保健衛生総務費	
			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源			9,448 千円			9,685 千円			9,685 千円				
		計(A)			9,448 千円			9,685 千円			9,685 千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.083 人	479 千円		0.083 人	482 千円		0.083 人	483 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)				9,927 千円			10,167 千円			10,168 千円					

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	救急医療体制の確保は、住民の安心安全な生活に不可欠であり、継続した提供が必要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	阿波市における救急医療体制の確保が図られ、住民が安心して生活が送れる環境整備が図られています。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	患者数は、住民の疾病や負傷等の発生状況に左右される為、数等のみで目標達成を図ることは困難です。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	救急医療体制を整備することにより、早期に適切な治療が受けられ、入院期間の短縮など医療費が抑えられると思います。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	市立の医療機関がないため、既存の中核的な医療機関に頼らざるを得ません。現在は、1医療体制になっており輪番の対象日の拡大を検討してもらう必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	国の救急医療対策実施要綱に基づくものであり、中・重症の救急患者の医療確保のため、今後も継続していく必要があります。					継続して実施してください。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	3	基本事務事業名	予防接種事業	事務事業名	個別接種事務	公的関与	1	シート作成日	平成28年6月21日				
	部局名	健康福祉部		課名	健康推進課		主務課長名	大木 悠子		シート作成者名	田丸 宏江					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし				
		主要施策		(5) 精神保健・感染症対策の推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		予防接種法				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	予防接種法に基づく、対象年齢で、阿波市に住民票のある者が対象です。													
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	阿波市医師会、徳島県広域化医療機関での実施により、感染症の流行を未然に防止し、健康増進を図ります。												
			今年度	実施時期は、通年です。接種費用は、予防接種法に基づく接種年齢、接種期間であれば無料です。(インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌ワクチンを除く)接種者数の集計により、未接種者の把握ができます。未接種者に対し、電話やハガキで接種を勧奨します。												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 徳島県医師会、阿波市医師会との契約事務を行います。															
	② 麻しん風しん混合、BCG、二種混合、日本脳炎、四種混合、小児用肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がん、水痘等、予防接種対象者への個別通知及び広報、阿波市HP等による接種勧奨を行います。															
	③ 高齢者用肺炎球菌ワクチンの対象者に個別通知、インフルエンザ予防接種の広報、ケーブルテレビ、ポスター掲示等による接種勧奨を行います。															
	④ 接種後の台帳記帳とコンピューター入力を行います。															
	⑤															
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標							
	予防接種率 ①MRI期 ②MRⅡ期		接種者数÷接種対象者		%	目標	95	95		100						
						実績	①88.4% ②92.5%	①109.5% ②91.7%								
	個人通知		通知回数		回	目標	2	2	4	→						
						実績	2	2								
						目標										
					実績											
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費	
			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考										
	直接事業費	国庫支出金			千円	千円	千円									
		県支出金			千円	千円	千円									
		地方債			千円	千円	千円									
		その他特定財源			千円	千円	千円									
		一般財源	71,261 千円		73,323 千円	77,412 千円										
		計(A)	71,261 千円		73,323 千円	77,412 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.625 人	3,609 千円	0.625 人	3,631 千円	0.625 人	3,637 千円								
		臨時・嘱託職種														
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円									
全体事業費(A+B)		74,870 千円		76,954 千円	81,049 千円											

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価		
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	感染症の予防と蔓延防止のため、予防接種による感染症の予防が必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい							
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある							
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない							
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない							
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	予防接種により感染を防ぎ、医療費の増加を防ぐことができます。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる							
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる							
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない							
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる							
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	目標達成を維持できるように未接種者には接種勧奨を行っています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている									
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない									
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している									
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		<input checked="" type="radio"/> 十分達成している									
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	制度改正の周知広報を徹底し、接種率の向上を図る必要があります。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当							
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない							
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない							
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない							
ACTION	評価点	一次評価					二次評価							
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価			
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等					
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止						
	当面の課題	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点												
改革案と実行計画	子どもは、病気にかかると重くなることもあります。予防接種法が制定された当初の予防接種は、罰則付きの義務接種でしたが、現在は、努力義務(自主的接種)となっているため、予防接種の必要性を理解してもらい、接種率の向上を図る必要があります。効果的な時期に広報やACNを通じて接種勧奨をします。H25年6月より子宮頸がんワクチン予防接種の積極的勧奨が差し控えられており、中学1年生の女子を対象に通知のみを送付しています。					周知方法を工夫し、的確な情報提供に努め、各予防接種の接種率の向上を図ってください。								
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	4	基本事務事業名	予防接種事業	事務事業名	予防接種事故対策給付金事務	公的関与	1	シート作成日	平成28年6月21日			
	部局名	健康福祉部		課名	健康推進課		主務課長名	大木 悠子		シート作成者名	田丸 宏江				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(5) 精神保健・感染症対策の推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		予防接種法			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		定期予防接種により引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害を残すなどの健康被害が生じた人が対象となります。											
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	健康被害の程度に応じて、医療費、医療手当、障害児養育年金、障害年金、死亡一時金、葬祭料の区分があり、法律で定められた金額が支給されます。死亡一時金、葬祭料以外については、治療が終了するまたは障害が治癒する期間で支給されます。											
			今年度	現在2名の方が、予防接種による健康被害を受けたものと認定され、救済が行われています。26年度は、1名の申請があり給付金を支給しました。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 認定を受けた対象者からの請求を受け給付します。														
	② 健康被害が起こった場合、予防接種によって引き起こされたものか因果関係を各分野の専門家と審議します。														
	③														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標					
	受給者数		受給者数		人	目標	2	2	2	↓					
						実績	1	1							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費
			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円							千円
		県支出金			3,396 千円			3,449 千円							3,541 千円
		地方債			千円			千円							千円
		その他特定財源			1,132 千円			1,149 千円							1,181 千円
		一般財源			千円			千円							千円
		計(A)			4,528 千円			4,598 千円							4,722 千円
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.042 人	243 千円		0.042 人	244 千円		0.042 人	244 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)				4,771 千円			4,842 千円							4,966 千円	

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	予防接種は、伝染のおそれのある疾病の発生や蔓延を予防するものであり、予防接種の勧奨をするためにも本事業による救済制度は有効です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	本事業を廃止・休止することは、法律上からも考えられません。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	法律上認められており、公平公正に対応しています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		<input checked="" type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	健康被害が解消されない限り、削減の余地はありません。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	法律に基づく対応はなされています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	適切な医療が受けられるように努めます。更に、予防接種事故が起こらないよう、医療機関及び住民に対して、最新情報を発信していきます。					継続して実施してください。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	5	基本事務事業名	母子保健事業	事務事業名	新生児訪問指導事業	公的関与	1	シート作成日	平成28年6月23日		
	部局名	健康福祉部		課名	健康推進課	主務課長名	大木 悠子	シート作成者名	坂東 久美				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)	(1) 保健・医療の充実		<input type="radio"/> 1 該当	平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
		主要施策	(4) 健康診査・保険指導等の充実		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等		母子保健法					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	妊産婦、新生児、乳幼児										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	家庭訪問において妊娠、出産、育児についての保健指導を実施することで、健康の保持増進および養育困難家庭の把握と支援に繋がっていきます。									
			今年度										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 妊産婦の問診と保健指導(異常の早期発見、正しい知識、乳房・乳頭の手入れ、家族計画、精神保健に関することなど)												
	② 乳幼児の健康状態の観察、把握(身体測定など)												
	③ 乳幼児の保護者に対する保健指導(新生児の発育、発達、栄養および乳房管理、清潔面、生活環境づくりなど)												
	④ 情報提供(制度、予防接種、母子保健事業について)												
	⑤ 支援が必要な家庭に対しては適切なサービスにつなげる												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標				
	新生児、乳児訪問率		訪問数÷家庭訪問対象の乳幼児数	%	目標	75	75	75					
					実績	56.1	61.3						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	保健事業費
			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
	直接事業費	国庫支出金		千円	千円	千円							
		県支出金		千円	千円	千円							
		地方債		千円	千円	千円							
		その他特定財源		千円	千円	千円							
		一般財源		1,015 千円	1,337 千円	1,260 千円							
		計(A)		1,015 千円	1,337 千円	1,260 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.542 人	3,130 千円	0.542 人	3,149 千円	0.542 人	3,154 千円					
		臨時・嘱託職種	保健師										
臨時・嘱託工数・経費		1.625 人	3,218 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		7,362 千円	4,486 千円	4,414 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要	不要	説明	必要	不要	総合	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	妊産婦および乳幼児の家庭訪問は個人情報に深く関係する事業であるため、市が実施主体になっていることで公平性・公正性が確保できています。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい						
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	妊産婦および乳幼児の健康の保持増進、疾病の早期発見・治療に繋がることができています。また、居宅において様々な不安や悩みを聞き、子育ての孤立化の予防ができています。さらに、養育困難家庭の把握と支援につながっています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる						
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	前年度と比較し、訪問率が5%向上しており、目標は概ね達成しています。今後は、引き続き関係機関と連携をとりながら、さらなる訪問率の向上に努めていく必要があります。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている								
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない								
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している								
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している								
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	家庭訪問を実施することは、養育環境を把握し、対象者がリラックスした状態で様々な悩みを話すことができるため、早期に必要な支援に繋げることができることから、コスト以上の効果があります。育児不安を抱える産婦に対し、2回訪問するケースが増えているため、予算を増やす必要があります。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当						
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	A	4	4	3	4	A		
	今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input checked="" type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止					
	当面の課題	育児不安を抱える産婦が増えているため、早期に家庭訪問し、継続して関わることで、育児不安の解消及び養育困難家庭の把握と支援に繋げていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	スタッフの充実を図り、新生児訪問指導事業の充実に努めます。					新生児の発育、栄養、生活環境、疾病予防など、育児上重要な施策であり、引き続き訪問事業の強化に努めてください。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	6	基本事務事業名	母子保健事業	事務事業名	乳幼児健診事業	公的関与	1	シート作成日	平成28年6月27日			
	部局名	健康福祉部			課名	健康推進課		主務課長名	大木 悠子		シート作成者名	吉田 早苗			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(4) 健康診査・保険指導等の充実				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		母子健康法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		乳児、1歳6か月児・2歳児・3歳児を対象に行っております。											
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	乳幼児に対する健康診査を実施し、乳幼児の発育・発達を確認し保護者に対しての相談を行い、乳幼児の健康保持、増進を図ります。											
			今年度	健診実施体制の見直しを行い、健康診査の充実を図ります。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 身体測定・内科診査・歯科診察、指導・保健相談・栄養相談を行います。														
	② 1. 6歳児健診、3歳児健診では言語聴覚士による聴覚検査及びことばの相談を行います。														
	③ 1. 6歳児健診、2歳児健診・3歳児健診では希望者にフッ素塗布を行います。														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標					
	①乳児健診受診率		受診者数÷対象者数		%	目標	98	98	98	100					
	②1歳6か月児健診受診率		受診者数÷対象者数		%	実績	96.3	96.7							
	③2歳児健診受診率		受診者数÷対象者数		%	目標	98	99	100	100					
	④3歳児健診受診率		受診者数÷対象者数		%	実績	②96.9 ③97.6	②99.0 ③100							
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4 衛生費		項	1 保健衛生費		目	4 保健事業費	
	直接事業費			平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考					
		国庫支出金		千円		千円		千円							
		県支出金		千円		千円		千円							
		地方債		千円		千円		千円							
		その他特定財源		千円		千円		千円							
		一般財源		4,503 千円		4,719 千円		4,846 千円							
	計(A)		4,503 千円		4,719 千円		4,846 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		3.125 人 18,045 千円		3.125 人 18,153 千円		3.125 人 18,185 千円							
		臨時・嘱託職種		保健師		管理栄養士		管理栄養士							
臨時・嘱託工数・経費		1.875 人 3,713 千円		1.875 人 3,713 千円		1.875 人 3,713 千円									
全体事業費(A+B)		26,260 千円		26,585 千円		26,744 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価			
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	○ 少ない	● 大きい	健康診査実施により、疾病の予防と健康の保持増進を図る必要があります。	○ 少ない	● 大きい	○ ない	● ある		
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	○ ない	● ある	乳幼児期からの健診を有効に行うことで、早期に必要な対応を行うことができます。	○ いえない	● いえる	受診率は概ね達成していますが、今後も未受診者対策が必要となります。		○ 目標に比べて劣っている	○ 目標に比べて劣っている	○ 多い	● 適当		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	○ ある	● ない		○ いえない	● いえる			○ あまり上がっていない	○ 概ね達成している	○ できる	● できない	○ 高い	● できない
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	○ いる	● いない		○ する	● しない			○ 概ね達成している	○ 十分達成している	○ ある	● ない	○ ある	● ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	○ できない	● できる		○ できない	● できる		● 十分達成している	○ ある	● ない	○ ある	● ない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	○ 高い	● 適当	健診体制の見直し及びスタッフの充実を図り、効率的に健診を展開する必要があります。	○ 高い	● 適当	○ 拡大・充実 ● 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託等	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	○ できる	● できない		○ できる	● できない		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	○ ある	● ない		○ ある	● ない		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	○ ある	● ない		○ ある	● ない		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	○ 高い	● 適当	健診体制の見直し及びスタッフの充実を図り、効率的に健診を展開する必要があります。	○ 高い	● 適当	○ 拡大・充実 ● 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託等	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	○ できる	● できない		○ できる	● できない		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	○ ある	● ない		○ ある	● ない		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	○ ある	● ない		○ ある	● ない		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	○ 高い	● 適当	健診体制の見直し及びスタッフの充実を図り、効率的に健診を展開する必要があります。	○ 高い	● 適当	○ 拡大・充実 ● 現状維持 ○ 方法改善 ○ 民間委託等	○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	○ できる	● できない		○ できる	● できない		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	○ ある	● ない		○ ある	● ない		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等			
ACTION	評価点	一次評価					二次評価								
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価				
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A				
	今後の方向性	○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等		○ 拡大・充実 ○ 縮小	● 現状維持 ○ 統合/終期設定	○ 方法改善 ○ 廃止/休止	○ 民間委託等					
	当面の課題	未受診者を把握し、継続した受診勧奨と指導を図る必要性があります。健診を効率的に実施するために健診体制の調整を図る必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
改革案と実行計画	未受診者に対し電話連絡、家庭訪問を実施し関係機関との連携を図ります。また、健診予定の調整や職員の充実を図り、健診体制の確立に努めます。					引き続き未受診者に対する受診率の向上に努めてください。									
委員会指摘事項															

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	基本事務事業名	母子保健事業	事務事業名	妊婦乳児健診委託事業	公的関与	4	シート作成日	平成28年6月24日		
	部局名	健康福祉部		課名	健康推進課	主務課長名	大木 悠子		シート作成者名	山口 由美子		
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input type="checkbox"/> 1 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)	(1) 保健・医療の充実			<input type="radio"/> 1 該当	平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策	(4) 健康診査・保険指導等の充実			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当	根拠法令等		母子保健法			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	妊婦・乳児を対象としています。									
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	妊婦・乳児に対する健康診査、保健指導を行うことにより、疾病の予防・健康の保持増進を図ります。また、早期発見により適切な医療に結びつけます。								
			今年度	妊婦健診を14回、乳児健診を2回実施し、妊婦・乳児の健康管理を図ります。								
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
	① 妊婦健診・乳児健診・保健指導を行います。											
	② 里帰りで県外での妊婦健康診査費用の助成を行います。											
	③											
	④											
	⑤											
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標			
	妊婦健康診査受診率	延べ受診者数÷受診票交付枚数	%	目標		100	100	100	100			
					実績	54.7	86.9					
	乳児健康診査受診率	延べ受診者数÷受診票交付枚数	%	目標		100	100	100	100			
					実績	60.3	64.3					
				目標								
			実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 保健事業費		
			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円					
		県支出金	千円		千円		千円					
		地方債	千円		千円		千円					
		その他特定財源	千円		千円		千円					
		一般財源	25,297 千円		25,918 千円		28,066 千円					
		計(A)	25,297 千円		25,918 千円		28,066 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.167 人	964 千円	0.167 人	970 千円	0.167 人	972 千円				
		臨時・嘱託職種										
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)		26,261 千円		26,888 千円		29,038 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	健康診査実施により、疾病の予防と健康の保持増進が図れます。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	乳幼児、妊婦の健康支援が図れます。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	未受診者の把握を行い、事後指導等の充実を図る必要があります。			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない				<input type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	未受診者の把握を行い、事後指導等の充実を図る必要があります。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	未受診者を把握し、継続した受診勧奨を行い、また、要指導者に対して、効率的・効果的な支援を行う必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	要指導者に対して電話連絡、家庭訪問等あらゆる機会を通して支援を行います。					引き続き未受診者に対する受診率の向上に努めてください。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	8	基本事務事業名	母子保健事業	事務事業名	股関節脱臼検診事業	公的関与	4	シート作成日	平成28年6月24日			
	部局名	健康福祉部		課名	健康推進課	主務課長名	大木 悠子		シート作成者名	山口 由美子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実			<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(4) 健康診査・保険指導等の充実			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		母子保健法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		乳児(主に生後2~5か月児)を対象にしています。										
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	専門医による股関節脱臼検診を行い疾病の予防、異常の早期発見、早期治療に努めます。									
				今年度	スタッフの充実をはかり、体制整備に努めます。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 専門医による検診、精密者の受診勧奨と指導を行います。													
	② 育児支援・保健指導・栄養指導を行います。													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標				
	股関節脱臼検診受診者率		受診者数÷対象者数		%	目標	95	95	95	100				
						実績	90.6	90.9						
						目標								
						実績								
						目標								
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	保健事業費
			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円			
		県支出金			千円			千円			千円			
		地方債			千円			千円			千円			
		その他特定財源			千円			千円			千円			
		一般財源	134 千円		162 千円		168 千円							
		計(A)	134 千円		162 千円		168 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.188 人	1,086 千円	0.188 人	1,092 千円	0.188 人	1,094 千円						
		臨時・嘱託職種	保健師		看護師		看護師							
臨時・嘱託工数・経費		0.125 人	248 千円	0.125 人	225 千円	0.125 人	225 千円							
全体事業費(A+B)		1,467 千円		1,479 千円		1,487 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	疾病予防と異常の早期発見、早期治療につなげます。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input checked="" type="radio"/> いる	<input type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	疾病の早期発見、早期治療につながり、医療費の削減につながっていきます	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	受診率から見て概ね達成しています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	検診機会を活用して、育児支援や健康づくりに努めていきます。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	受診率の向上を図り、疾病予防と異常の早期発見、早期治療につなげます。検診前後の時間を活用して身体計測や保健・栄養相談を行いました。受診対象者も多く満足な育児支援が来ておりません。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	受診者の満足度を上げるために、毎月実施している乳児相談を保護者に案内し、育児支援に努めます。					育児支援体制や相談内容などを工夫し、更なる育児支援に努めてください。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	基本事務事業名	母子保健事業	事務事業名	パパママ教室事業	公的関与	4	シート作成日	平成27年6月24日			
	部局名	健康福祉部		課名	健康推進課	主務課長名	大木 悠子		シート作成者名	坂東 久美			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)	(1) 保健・医療の充実			<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	平成	年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策	(4) 健康診査・保険指導等の充実			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	母子保健法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	妊婦及びその家族										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	対象者がよりよい産前産後生活を送ることができるようにします。									
			今年度	対象者が無理なく参加しやすい環境で受講し、妊娠生活等に対する知識を獲得できるようにします。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 保健師による妊婦さんと赤ちゃんの健康についての指導												
	② 管理栄養士による妊娠中の食事についての指導												
	③ 助産師による出産・育児についての指導												
	④ 沐浴実習と妊婦体験												
	⑤ 個別相談												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標				
	参加者数	年間参加者数		人	目標	60	60	60	60				
					実績	59	71						
	開催数	年間開催数		回	目標	3	3	3	3				
					実績	3	3						
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 保健事業費		
			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考							
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円						
		県支出金	千円		千円		千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	千円		千円		千円						
		一般財源	14 千円		30 千円		21 千円						
	計(A)	14 千円		30 千円		21 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.333 人	1,923 千円	0.333 人	1,934 千円	0.333 人	1,938 千円					
		臨時・嘱託職種	保健師										
臨時・嘱託工数・経費		0.167 人	331 千円	人	0 千円	人	0 千円						
全体事業費(A+B)		2,268 千円		1,964 千円		1,959 千円							

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	市が実施主体となることで、病院とは異なり、専門職とゆっくり向き合え、妊娠生活に必要な知識を獲得できる事業になっています。事業後のアンケート調査では、満足度が高い傾向にあるため、継続して実施する必要があります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	事前に参加者の妊娠届の問診や妊婦一般健康診査の結果をもとに健康状態を把握したうえで、講義をするため、妊娠中の疾病の予防に繋がっています。沐浴実習や妊婦体験をとおして、育児不安の軽減や他の参加者との交流ができています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	目標設定に対して11人上回っており、十分に目標を達成しています。今後は、さらに受講者数を増やすために、対象者が参加しやすいような日程や内容の工夫をしていく必要があります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	対象者は働いている世代が多いため、参加率の向上を図る必要があります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	3	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	受講内容の充実と、受講者の満足度の向上を図り、受講者の増加を図る必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	市内のできるだけ多くの人に参加できるよう広報、ホームページ、妊娠届出時に日程票を配布する等周知方法の検討と、開催日の検討を実施します。また、受講終了後にアンケートを実施し、内容や時間の検討を行っていきます。					周知方法の工夫や実施内容の充実を図り、引き続き受講者の増加に努めてください。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	10	基本事務事業名	母子保健事業	事務事業名	療育相談事業	公的関与	4	シート作成日	平成28年6月24日			
	部局名	健康福祉部		課名	健康推進課	主務課長名	大木 悠子		シート作成者名	山口 由美子				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実			<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(4) 健康診査・保険指導等の充実			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		母子健康法			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		乳幼児健診等で要精密検査・要指導等となった児や、保護者から発達について相談のあった方を対象としています。										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	心身の発達に遅れのある児の保護者に発達相談員・保育士・保健師等が児への適切な関わり方を助言します。また、各関係職種と連携を取りながら支援します。										
			今年度	心身の発達に遅れ等がみられる児に、早期に適切な助言・サービスが受けられるよう支援します。就学に備え適切な対応がとれるようにします。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 保育士・作業療法士等による集団療育及び個々の発達確認を行い支援します。													
	② 言語聴覚士・発達相談員等による発達検査及び個別相談を行います。													
	③ 保健師による相談・助言を行います。													
	④ 関係機関(保育所・幼稚園・デイサービス事業所・言語訓練実施医療機関等)関係職種との連携を密に行います。													
	⑤ 言語聴覚士による保育所・認定こども園巡回相談を行います。													
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標					
	相談数	相談数		人数は予測できないため、目標値は設定に適しません。		人	目標							
							実績	集団(215人)・個別(22人)	集団(189人)・個別(26人)					
							目標							
							実績							
							目標							
					実績									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4 衛生費		項	1 保健衛生費		目	4 保健事業費	
			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円			
		県支出金			千円			千円			千円			
		地方債			千円			千円			千円			
		その他特定財源			千円			千円			千円			
		一般財源			622 千円			678 千円			717 千円			
		計(A)			622 千円			678 千円			717 千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.667 人	3,851 千円		0.667 人	3,875 千円		0.667 人	3,881 千円				
		臨時・嘱託職種	保健師											
臨時・嘱託工数・経費		0.333 人	659 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円					
全体事業費(A+B)				5,133 千円			4,553 千円			4,598 千円				

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	乳幼児健診等で発達が気になる児は年々増加傾向にあります。そのため、療育相談事業は身近で受けられる相談場所として必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい						
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	言語聴覚士・臨床心理士等が実施する個別相談は、必要に応じて発達検査ができるので、個々にあったサービスにつなげやすく有効であると考えます。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる						
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	個々に相談のあった児に、相談後迅速に適切な助言や療育機関の紹介を実施しており、概ね目標は達成しています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている								
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない								
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している								
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している								
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	集団療育については、月1回実施しており、時間設定や参加人数により療育方法を変えるなどして効率よく行っています。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当						
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない		<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	集団療育については、毎月平均15人程度の参加者がありますが、参加人数が多い場合の対応が課題です。専門職に限りがあり、個別相談の件数が制限されるので、専門職の確保が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	相談実施回数と時間調整の検討、及び専門職の確保と相談時間の調整を行うことで、個々にあったサービスに繋げていきます。					専門職の確保や相談実施回数と相談時間の調整に努めてください。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	11	基本事務事業名	母子保健事業		事務事業名	発達相談事業		公的関与	4	シート作成日	平成28年6月24日		
	部局名	健康福祉部			課名	健康推進課		主務課長名	大木 悠子		シート作成者名	山口 由美子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
		主要施策		(4) 健康診査・保険指導等の充実				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		母子保健法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		乳幼児健診等で要精密検査等となった児や、保護者から発達について相談のあった者を対象としています。											
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	心身の発達に遅れのある児の保護者に小児科医や保健師等が児への適切な相談・助言を行います。児への健全な発達を促すため、適切なサービスが受けられるように各関係職種と連携を取りながら支援します。											
			今年度	前年度に引き続き、心身の発達に遅れ等がみられる児に、早期に適切な助言・サービスが受けられるよう支援します。また、就学に備え適切な対応がとれるようにします。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 小児神経専門医師の診察と適切な相談・助言と必要に応じて診断を行います。(奇数月1回4人程度)														
	② 保健師による相談、助言を行い、保健医療福祉サービス等の紹介を行います。														
	③ 関係機関(保育所・認定こども園、幼稚園・デイサービス事業所・言語訓練実施医療機関等)・関係職種との連携を行います。														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標					
	相談人数		人数は予測できないため、目標値は設定に適しません。		人	目標									
						実績	23	23							
						目標									
						実績									
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4 衛生費		項	1 保健衛生費		目	4 保健事業費	
			平成 26 年度決算		平成 27 年度決算		平成 28 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	180 千円		196 千円		196 千円								
	計(A)	180 千円		196 千円		196 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.333 人	1,923 千円		0.333 人	1,934 千円		0.333 人	1,938 千円					
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		2,103 千円		2,130 千円		2,134 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				少ない	大きい	小児神経専門医が少なく、医療機関で診察を受ける場合、半年～1年先まで予約がいっぱいのため、市内で2ヶ月に1回相談の機会は続けていく必要があります。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				ない	ある				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				ある	ない				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				いる	いない				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				いえない	いえる	近くで専門医に診察してもらえ、保育士・幼稚園教諭なども一緒に診察に入ることもでき連携がとりやすくなります。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				いえない	いえる				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				する	しない				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				できない	できる				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				目標に比べて劣っている		療育や訓練が必要な児には、適切な療育・訓練施設の案内ができていいると思われます。また、就学前には今後の適切なアドバイスがもらえるようにして効果的に活用できています。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				あまり上がっていない					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				概ね達成している					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				十分達成している					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				高い	適当	新規・継続を問わず必要性の高い児を優先に予約を入れ、日程調整をしながら実施しています。			<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				できる	できない				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				ある	ない				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>				ある	ない				<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
当面の課題	乳幼児健診等で要精密となり新規の発達相談対象児が毎年みられるため、今後も小児神経専門医師の診察の継続が必要です。現在依頼している医師が今後診察にきていただけなくなる場合、他に依頼できる専門医師の確保が困難な状況です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
改革案と実行計画	小児神経専門医師の確保と紹介できる医療機関の空き状況を把握しておき、効果的な支援につなげます。					専門医師による発達相談は、県内でも本市でのみ実施している事業です。今後とも引き続き実施してください。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	12	基本事務事業名	健康増進事業	事務事業名	各種検診等事業	公的関与	1	シート作成日	平成28年6月27日		
	部局名	健康福祉部		課名	健康推進課	主務課長名	大木 悠子	シート作成者名	原田 裕栄				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業	<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援	事業運営方法		<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営	<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理	<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input checked="" type="checkbox"/> 2 一部委託	<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)	2. 安全・安心のまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)	(1) 保健・医療の充実			<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	平成	年	<input type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策	(5) 精神保健・感染症対策の推進			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	健康増進法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	健康増進法及び新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業(国の定めたがん検診無料検診)で定められた年齢の方を対象にしています。										
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	疾病の早期発見・早期治療を推進し、市民の疾病予防や健康維持を目的としています。									
	事業の活動内容	具体的などのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)											
① 検診のお知らせを全戸配布しています。													
② 検診希望者の申し込み受け付けをし、受診券と検診票を送付しています。													
③ 精密検査が必要な方へ、訪問や通知で受診勧奨を行っています。													
④ がん検診推進事業対象者へクーポン券の送付を行っております。													
⑤ 検診結果に応じた情報提供を行っています。													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標				
	健康診査受診者数	受診者数		人	目標	25	↑	↑	↑				
					実績	受診者数39名	受診者数46名						
	がん検診受診率	受診者率÷対象者数		%	目標	25	↑	↑	↑				
					実績	8.9	9.2						
	がん検診精密検査受診率	受診者率÷対象者数		%	目標	100	↑	↑	↑				
実績					75.4	77							
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 保健事業費			
	直接事業費			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算		備考					
		国庫支出金		1,905 千円	625 千円	1,560 千円		健康診査対象者は、基本健診「生活保護者40～74歳の者」とフレッシュ健診「国保以外の20～39歳で健診を受ける機会のない者」となっているため、フレッシュ健診の対象者数が把握できません。そのため受診率ではなく、受診者数で表記しています。					
		県支出金		2,242 千円	2,002 千円	2,089 千円							
		地方債		千円	千円	千円							
		その他特定財源		122 千円	千円	千円							
		一般財源		20,728 千円	23,960 千円	26,561 千円							
	計(A)		24,997 千円	26,587 千円	30,210 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	3.062 人	17,681 千円	3.062 人	17,787 千円	3.062 人	17,819 千円					
		臨時・嘱託職種	保健師		看護師		看護師						
		臨時・嘱託工数・経費	0.908 人	1,798 千円	0.908 人	1,634 千円	0.908 人	1,634 千円					
全体事業費(A+B)			44,476 千円	46,009 千円	49,663 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
							少ない	大きい				少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	検診受診により早期発見、早期治療が必要です。			<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある				<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない				<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない				<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	受診率は徐々に上がってきています。今後も検診の周知方法や実施方法を検討し、受診率向上を図ります。			<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる				<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない				<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる				<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	希望する小学校や中学校の参観等で媒体設置による検診の受診勧奨をしました。乳幼児健診やイベント等で検診のお知らせをし、受診率向上を図りました			<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている		
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない				<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない		
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している				<input type="radio"/> 概ね達成している		
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している				<input type="radio"/> 十分達成している		
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	制度改正の周知を徹底し、さらなる受診率の向上を図るように努めなければなりません。			<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない				<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない				<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	3	4	2	4	A	3	4	2	4	A		
		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
		医療技術の進歩により、今やがんは早期発見・早期治療でほとんどが治るとされています。そのためにも検診受診率の向上が必要となります。若い世代から健康に関心を持ち、健康維持に努めていただけるようにすることも大切です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	家族ぐるみでの健康意識の向上、検診受診に努め各種検診の受診率向上を図ります。					検診率向上に努めながら、引き続き実施してください。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	13	基本事務事業名	健康増進事業	事務事業名	ヘルスマイト	公的関与	1	シート作成日	平成28年6月24日		
	部局名	健康福祉部		課名	健康推進課	主務課長名	大木 悠子		シート作成者名	田島 紀子			
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業	<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業	<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実		<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	～	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
	主要施策		(2) 市民主体の健康づくり活動の促進		<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	健康増進法					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市内に住民票のあるおおむね40歳以上の方、及び養成講座修了者を対象としています。										
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	ボランティアで食生活改善推進員として、生活習慣病が予防できるように活動します。									
			今年度	生活習慣病予防について学習し、自分の健康は自分で守るという意識を持ち、家族や地域に広げていけるようになります。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 生活習慣病予防のために必要な知識を学習します。												
	② 食事バランスガイドを活用し、食育の推進を図ります。												
	③ 調理実習を行い、普段の食生活を見直す機会をつくり、家族や地域へ普及活動を行います。												
	④ 健康づくりのための3指針(食生活・運動・休養)の普及活動を行います。												
	⑤ 食生活改善推進員として、市民が主体になる健康づくり活動への支援を行います。												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標					
	健康についての意識・知識・ 保健行動の変化	教室への参加人数			目標	↑	↑	450	↑				
					実績	430	440						
	啓発・普及活動	地域住民への普及人数			目標	↑	↑	8000	↑				
					実績	8617	7438						
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	保健事業費
			平成	26	年度決算	平成	27	年度決算	平成	28	年度予算	備考	
	直接事業費	国庫支出金		千円		千円		千円					
		県支出金		千円		194 千円		374 千円					
		地方債		千円		千円		千円					
		その他特定財源		千円		千円		千円					
		一般財源		374 千円		330 千円		187 千円					
		計(A)		374 千円		524 千円		561 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,887 千円	0.500 人	2,905 千円	0.500 人	2,910 千円					
		臨時・嘱託職種	栄養士		管理栄養士		管理栄養士						
臨時・嘱託工数・経費		0.125 人	240 千円	0.129 人	255 千円	0.125 人	248 千円						
全体事業費(A+B)			3,501 千円		3,684 千円		3,718 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							少ない	大きい		少ない	大きい
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	生活習慣病は蔓延しており、食生活改善推進員の必要性は高くなっています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	地域の住民が最新の知識を学習し、その知識や調理ポイントなどを自分の身近な地域に広めることで、地域に受け入れられやすくなっていきます。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	食生活改善推進員として、家庭や地域で普及・啓発を行っています。また、全国食生活改善推進員の事業にも積極的に参加し、食育活動にも関わっています。しかし、活動が限定されており、成果が見えにくくなっています。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	地域での普及活動のため、住民との連携がとりやすくなります。	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
ACTION	評価点	一次評価					二次評価				
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	今後の方向性	3	4	2	3	B	4	4	2	3	B
		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	
	当面の課題	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止							
		会員の高齢化とともに会員全体の健康教室への参加が少なくなってきました。これには、高齢化とともに交通の便が悪い等の理由が挙げられます。また、体調を崩し活動ができなくなっている方も増えてきています。このため、地域での普及活動が進まず参加者も固定化しつつあります。若い方の参加を呼び掛けていますがなかなか集まらないのが現状となっています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	会員に対しては、阿波市の健康づくりの柱となるための活動目標の明確化を図ります。					新会員の確保に努力するとともに、引き続き事業を実施してください。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成27年度実施事業対象

PLAN	No.	20	—	14	基本事務事業名	精神保健事業	事務事業名	自殺予防事業	公的関与	4	シート作成日	平成28年6月24日				
	部局名	健康福祉部			課名	健康推進課	主務課長名	大木 悠子		シート作成者名	山口 由美子					
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input checked="" type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託					
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(5)障がい者施策の充実				<input type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
		主要施策		(2)啓発・交流活動等の推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等		自殺対策基本法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民を対象として啓発活動等を行っています。												
		目的(どうい う状態に したいのか)		最終的	市民が自殺予防に対する意識を高め、早期に相談支援等を関係機関と連携を行い、自殺者の減少に努めます。											
				今年度	若年層の自殺予防に関する正しい知識の普及や理解が深まるよう努めます。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 成人式で、自殺予防に関するパンフレット等を配布し正しい知識の普及を行います。															
	② 広報等で自殺の現状を伝え、自殺予防への対応を高めます。															
	③															
	④															
	⑤															
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	最終目標						
	市民の自殺予防に対する意識の向上		普及啓発人数		人	目標	1000	1000	1000	↑						
						実績	112	431								
						目標										
						実績										
						目標										
					実績											
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	7	精神保健事業費	
			平成 26 年度決算	平成 27 年度決算	平成 28 年度予算	備考										
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円					
		県支出金	100		千円			千円			千円					
		地方債			千円			千円			千円					
		その他特定財源			千円			千円			千円					
		一般財源	100		千円	200		千円	200		千円					
		計(A)	200		千円	200		千円	200		千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.125	人	722	千円	0.125	人	726	千円	0.125	人	727	千円		
		臨時・嘱託職種														
臨時・嘱託工数・経費		0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円			
全体事業費(A+B)				922	千円			926	千円			927	千円			

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	毎年自殺者がみられるため、市民の自殺予防に対する意識を高め、早期に対応し、自殺予防につなげるために必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい						
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある						
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない						
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	多くの市民に普及啓発を図るために有効です。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる						
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる						
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない						
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる						
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	今後も継続していくことにより市民全体に自殺予防の意識啓発を広げていきます。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている								
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない								
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している								
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している								
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	普及活動の機会や活動支援者を増やし効率を上げていくことが必要です。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当						
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない						
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない						
ACTION	評価点	一次評価					二次評価						
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
	今後の方向性	3	4	3	4	A	4	4	3	4	A		
		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点								
		啓発活動等が市民全体にまだまだいきわたっていない状況のように思われます。今後もあらゆる機会をとらえ普及啓発活動に努める必要があります。					今後ともあらゆる機会を通して普及啓発活動に努めてください。						
改革案と実行計画	研修会や広報誌において啓発活動を行い、市民の意識の向上を図っていきたいと思います。また、関係機関との連携を強化します。												
委員会指摘事項													